

- 気仙沼大島に架橋が完成したのを機に、各地域の連携を構築し観光協会など一体になった滞在交流を地域商品へと確立する
- 気仙沼の食を地域資源として活用すると共に、健康旅行として歩く旅「宮城オルレ」を体験商品化し「食」と「健康」を物語化する
- 滞在時間の増加、また長期滞在への対応も見据えた「農林漁業体験民宿」の開設推進と「民泊」の活用による空家と農地の総合管理を行う
- 体験を含めた滞在型回遊商品を四季を通じて造成、旅行会社ツアーへの組み込みと都市部の住民やインバウンドに向け総合的なプロモーションを行う

宮城県気仙沼市



【採択年度】
令和元年度

【事業実施期間】
令和元～2年度

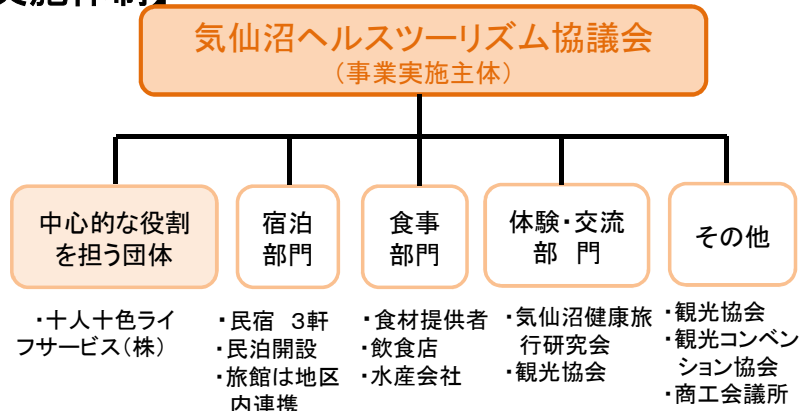


公認ルート宮城オルレ



大島に架橋、観光期待

【実施体制】



【特徴的な取組】

- 「宮城オルレ」を活用する地域案内を含めた歩く旅の商品化
- 空家と農地の総合活用による滞在プログラムの確立
- 地域の食文化を生活文化と融合させて体験商品に造成
- 滞在を促進する農林漁業体験民宿、民泊の開設
- 滞在受け入れ全体を商品化する為の人材の育成



地域歩く旅商品化



空家と農地の総合活用



地域食文化の体験商品化

【取組内容】

- インバウンド対応へ向けた取組み
 - ・地域資源の調査による地域文化の体系化(動画等の制作含む)
 - ・「歩くルート」を目視化する多言語着地マップの作成
- 体験プログラムの開発、滞在プログラムの構築と人材育成
 - ・気仙沼の「食」を活用する体験プログラム造成、食のブランド化
 - ・農林漁業体験民宿・民泊の推進による地域滞在プログラム造成
 - ・体験指導者、地域コーディネーターの育成と組織化
- マーケティングに係る取組内容
 - ・多言語型WEBの作成とDMO・旅行会社向けの組み込みユニット造成。情報発信として「宮城ふるさとプラザ」等でのイベント開催
- モニターツアー等の実施計画
 - ・「食」に重きを置く、体験ツアーの実施。
 - ・バイヤーツアー等のチャンネル開発に結ぶ生産者訪問の実施。



インバウンド対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約
 WiFi	 WC				